

令和6年度 第3回 郡上市男女共同参画推進審議会 要録

日時 : 令和7年1月23日(木) 午後1時30分～午後3時05分
場所 : 郡上市総合文化センター4階 第2大会議室
出席者 : 山下優子会長、和佐田裕昭委員、谷口天馬委員、宮崎倫明委員、田中伸次委員、
河合丙仁委員、臼田啓子委員、常平毅委員、尾藤望委員、山田佳代子委員
欠席者 : 直井将人委員、小林久人副会長、林美恵委員、加藤環江委員
事務局 : 河合市長公室長、鷲見企画課長、北田係長、片桐主事

1. 開 会 (企画課長)
2. 挨拶 (市長公室長)
3. 議 事

(1) 第4次郡上市男女共同参画プランについて

事務局 : (資料①②③に沿って説明)

事務局 : まずはプランの全体構成を説明した。本日はプランの構成や第4章のプランの内容についてご審議いただきたい。また、プラン(案)P6以降の郡上市の現状に関するデータは、今後の検討の中で変更になる可能性があることを申し添える。

委員 : 質問はあるか。

委員 : 資料①中、目標2方針(2)③の、「…定年後に企業を目指す人、…」は、起業ではないか。

事務局 : 誤植であるため修正する。

委員 : 「女と男」をプランでは「ひととひと」と読むのであれば、ルビを打つと良い。

事務局 : そのようにする。

委員 : プラン冒頭の「なぜ男女共同参画が必要なのでしょうか？」は、分かりやすくして良い。しかし、4行目「日本には古くから…」とは具体的にどの時代のことを示すのか不明である。また、続く「男は仕事、女は家庭」の言葉は、一般的には「女は家事」と表現するのではないか。2行目「人と人同士が…」の表記も違和感があるため「人と人が」で良いのではないか。

委員 : 全体的に表現が分かりやすく良くなっている。言葉や文章の表記については、プラン策定の背景にある国や県の計画等と整合性も図る必要があるため、事務局で検討し必要に応じ修正されたい。全て一致させるわけではなくて、相違点を把握しておくことが重要である。

事務局 : 検討し、必要に応じ修正する。

委員 : プラン冒頭【◎男女共同参画が実現すると…】のうち、“家庭生活が充実します”について異論はないが、「男性の家庭への参画も進み…」の言葉の意味が分からない。

事務局 : 男性の家事育児への参加を推進する、ということを示したい。適切な文章に修正する。

委員 : プランP17以降、方針の横に記載があるマークは何か。

事務局 : 各方針に関するSDGsのアイコンを記載している。これらの説明は資料編やプラン巻末に記載する予定である。

事務局 : SDGsのアイコンは必ず記載をするべきものではないが、その達成に向けての取り組みということを示すために記載している。

- 委員： 資料③中、基本目標 1 の、1・2 の R6 年度の結果が 30 歳代まで同じなのは偶然か。
- 事務局： 確認する。
- 委員： 年代別で比較すると、大変特徴的な結果となっていることが分かる。アンケートの回収率をみると信用できる数値かは不明だが、分析をしてプラン策定に反映できると良い。
- 委員： 資料③中、基本目標 1 の 3・4 の設定目標は正しいか。低すぎる。
- 事務局： 正しくは 60 である。
- 事務局： 他にも、資料③中、基本目標 2 の 2、70 歳代以上の数値に誤りがある。原因は、計算母数の違いと思われる。他の数値についても、再度検証し正しいものを改めて提供する。
- 委員： プラン P18 の方針（2）①にある「女性管理職の積極的登用や意識向上等を促すセミナー等の実施」は、「女性管理職“へ”の…」とすると分かりやすい。意識向上等を促すという表現も柔らかい言葉にすると良い。また、P7 に郡上市職員の登用状況の記載があるが、大学でも同じような状況が続いていたことがある。登用率が低い原因は、個人の意識が低いことではなく別のことであるように思う。
- 事務局： 検討し、（2）①の表記について修正する。
- 委員： 第 4 次プランの重点事項についての記載が必要ではないか。記載する際には、それだけに注力しているような表記にならないよう注意が必要である。
- 事務局： プランに記載する方針で検討している。
- 委員： 基本目標 2 についての意見はあるか。プラン P18 の方針（1）（2）に【★郡上市女性活躍推進計画】とあるが、これはどういうことか。どこかに説明があるのか。
- 事務局： プラン P5 に、市町村計画として位置付けることを記載している。
- 委員： この文章の中に「郡上市女性活躍推進計画」「郡上市 DV 防止基本計画」の言葉が出てこないため、分かりづらい。
- 事務局： 分かりやすく修正する。
- 委員： SDGs に関する説明は資料編や巻末ではなく第 4 章の前に記載すると良いのでは。
- 事務局： そのようにする。
- 委員： プラン全体を分かりやすくしたことで、内容まで見てもらえるようになると思う。プラン P19 方針（4）①にある「社会制度や慣行を背景とした固定的な性別役割分担意識」は、表記を変え分かりやすくすると良い。
- 委員： プラン P19 方針（3）②の内容は、施設やサービスの充実ではなく、サービスがあることを知ってもらうために周知することを記載したほうが良いのではないか。
- 事務局： ①②の内容が重複している。支援やサービスがあることを周知し、知ってもらうことが介護の負担軽減に繋がる。
- 事務局： ここに記載した取組みは、介護や育児を理由に就労を諦めることを防ぐためにサービス等を充実させる、という内容を含んでいる。現在の表記では伝わらないため、修正する。
- 委員： （3）①②について、介護と子育てをまとめると分かりづらいのではないか。問題の差別化のため③を新設し、分けて記載したらどうか。
- 事務局： この分野は県計画と同じ整理をしている。介護と子育てについての計画は別にあるため、当プランで分ける必要はないと考えこの構成とした。
- 委員： 県と全く同じにするのであれば、この審議の場を設ける意味が無い。
- 事務局： 全てを同じにするつもりではなく、郡上市に置き換えるとどうかということを皆さんに審議していただきたい。

- 委員： ①に介護に関する取組みが含まれていないため不自然に感じるのではないか。
- 事務局： 庁内研究会で検討する。
- 委員： 方針（４）②の取組みに「地域協議会への…」と記載があるが、それに限定することは避けた方が良い。
- 事務局： 修正する。
- 委員： 基本目標３について意見はあるか。方針（２）①に「女性の会」と記載があるが、これは八幡町にしかない組織である。記載して問題がないか。
- 事務局： 消防総務課から、女性の会を通じて有用な意見の発信や収集ができていているという報告を受けている。
- 委員： 自主防災会に必ず女性を参加させるよう声を上げているため、そういったことも含めると良い。
- 事務局： 庁内研究会で検討し、必要に応じ修正する。
- 委員： 方針（２）②の「役割を固定しない男女共同の防災訓練の実施」とはどのような意味か。
- 事務局： 例えば、炊き出しや掃除は女性がするなどの性別による役割分担をしない、ということである。
- 委員： この表記では伝わらないため「性別によって役割分担が固定しない形での防災訓練」のように修正してはどうか。
- 事務局： 修正する。
- 事務局： 方針（３）②をプランに記載することに違和感がある。ぜひ委員から意見を聞きたい。
- 委員： 前回意見を言った理由は、やはり支え合うためには健康であることが必要であると思ったからである。
- 委員： どういう経緯で記載があるのか。不明であれば削除してもよいのではないか。
- 委員： 高齢者に偏った内容になっているから違和感があるのではないか。文章等を工夫すると良い。
- 委員： 介護を受ける側に立った内容ではなく、介護を受けないための環境づくり（健康づくり）という意味であれば、基本目標２（３）に含めても良いのではないか。
- 委員： 健康であることは大事である。介護をされる側にならないため、また介護をする側になったときの体力づくりをするための講座も開催されているので、そういった観点も含め記載すると良い。方針（１）③の“官民”とはどういう意味か。
- 事務局： “官”は市役所のことを指す。文章を簡潔にするために言葉を使ったが、分かりづらいため修正する。
- 委員： 方針（１）①にあるデートDVの担当課はどこか。
- 事務局： 確認し追記します。
- 委員： 資料③で年代別の結果を見ると、例えば基本目標２の１において、20歳代と70歳代以上では大きく結果が異なることが見受けられる。全体結果では見えなかった部分が明らかになり、非常に良い。ここまで年代別で結果に差が出るのであれば、効果検証等に落とし込めると良い。

4. その他

- 事務局： 今回は2月13日に開催する。本日は意見シートを配布しているので、まだ意見があれば1月31日までに企画課まで報告いただきたい。

5. 閉 会 （15：05閉会）